

## 《企業紹介》

同社はタイの総合不動産開発企業である。開発事業だけでなく仲介や管理といったアフターサービスも手掛けており、物件を購入した顧客に対してトータルサポートを提供できる点が同社の強みとなっている。1984年に高級高層住宅の開発企業として創業、その後顧客ニーズの多様化に合わせて事業領域を拡大し、1996年にタイ株式市場で株式公開を果たした。1997年に起こったタイの金融危機の影響を受けて経営危機に陥ったが2000年に再生を果たし、2023年12月期の営業収入はタイ国内で業界1位の規模となっている。

## 《2024年4-6月期業績》

2024年4-6月期の営業収入は前年同期比3.7%減の96.1億バーツだった。建売住宅の営業収入が順調なプロジェクトの進捗によって同31.5%増の45.4億バーツと大きく伸びたが、コンドミニアムの営業収入が同28.3%減の20.6億バーツと低迷が続いたこと、土地売却収入が同82.2%減の0.8億バーツに大きく減少したことが影響した。所有する米国のホテルが9月まで改装中となっているため、ホテル関連事業の営業収入も前年同期比で減収だった。

粗利益の比較的高いコンドミニアムの営業収入の構成比が低下していることに加え、土地売却収入の減少によって、粗利益率が同3.7%ポイント低下の33.3%となったことから、粗利益は同13.4%減の31.9億バーツとなった。

営業利益は同28.5%減の14.0億バーツとなった。粗利益の減少に加え、販売費および一般管理費が同3.7%増の17.9億バーツに増加したことが響いた。金融収支が前年同期の5,550万バーツの支払超過から5,640万バーツ受取超過に転じたこと、持分投資利益が同213.9%増の2.2億バーツとなったことから、税引前利益は同15.0%減の16.8億バーツとなった。税引後利益は同15.7%減の13.2億バーツだった。営業収入の事業別の構成によって粗利益率が変動し、それが業績動向に影響している状況が続いている。

図表1 四半期業績の推移(単位 百万バーツ)

	2023年4-6月期		2023年7-9月期		2023年10-12月期		2024年1-3月期		2024年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	9,987.8	27.4	9,554.1	7.9	11,035.4	-15.6	10,169.6	19.6	9,614.7	-3.7
粗利益	3,692.7	32.6	3,149.3	4.0	3,789.8	-20.0	3,590.3	8.0	3,198.6	-13.4
粗利益率(%、ポイント)	37.0	1.4	33.0	-1.2	34.3	-1.9	35.3	-3.8	33.3	-3.7
販売費および一般管理費	1,731.4	15.8	1,384.5	-10.8	2,247.2	-23.2	2,121.9	53.8	1,796.0	3.7
営業利益	1,961.3	52.2	1,764.7	19.7	1,543.1	-14.8	1,466.1	-24.6	1,402.6	-28.5
金融収支(マイナスは受取超過)	55.5	-68.2	49.2	8.3	77.4	238.7	-7.7	-	-56.4	-
持分投資利益(マイナスは損失)	70.5	78.5	165.4	7.8	96.7	-63.7	124.8	73.7	221.2	213.9
税引前利益	1,976.3	71.3	1,880.9	18.9	1,562.4	-23.9	1,598.6	-17.9	1,680.2	-15.0
税引後利益	1,574.3	76.9	1,501.5	22.5	1,233.3	-28.2	1,253.6	-18.4	1,327.3	-15.7

出所 会社資料をもとに当社作成

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20240819

主な事業 金融商品取引業

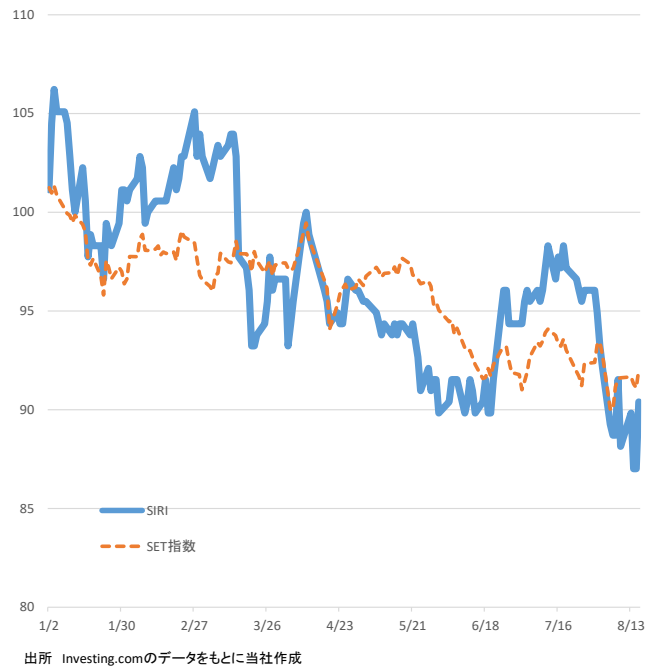
本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

## 《株価動向》

図表2は同社の株価とタイ株式市場を代表する株価指数であるSET指数の2023年末を100としてそれぞれを指数化したものである。同社の株価パフォーマンスはやや大きな変動幅を伴ってSET指数のそれと連動しているといえよう。8月16日時点の2023年末比はSET指数が8%の下落となっているのに対して、同社は10%の下落となっている。8月16日終値1.6パーズで計算した時価総額は276億パーズで、これは2023年12月期の税引後利益58.4億パーズの5倍の水準となっている。

タイ経済の低迷、政情不安などタイ株式市場に対する逆風が強く、SET指数は年初から下落の一途をたどっている。業績が底堅く推移しているにも拘らず、同社の株価パフォーマンスはその影響を受け、SET指数と同様の下落が続いている。新首相のリーダーシップのもとでどのような経済構造改革が実施されるかが、パフォーマンス改善の鍵を握っているといえるだろう。

### 図表2 株価の推移



#### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20240819

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。